



印西市立印西中学校

# 自立貢献

学校だより

令和8年2月13日発行

No.14 発行者 坂野 峰子



いじめ・体罰相談窓口：宇井・木島・川本・山本達・大川・新村・和田・教頭・校長  
セクハラ相談窓口：新村・綿貫・高木・木島・宇井・和田・教頭・校長

**何も咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ。やがて大きな花が咲く！**

～シドニーオリンピック金メダリスト：高橋尚子さん、恩師のことばより～

立春を過ぎ、桃の花の蕾が膨らみ始めた矢先に、7日(土)、8日(日)と印西市に大雪警報が出るほどの大雪になりました。9日(月)の登校に際しましては、保護者の皆様のご協力のもと、生徒たちが安全に気をつけて登校することができました。ありがとうございました。

さて、2月は「逃げる」、3月は「去る」と言われているように、あっという間に、時は流れていることを感じます。3年生は、残すところ15日の登校、1・2年生は、24日の登校となりました。

3年生は、いよいよ公立高校入学者選抜が、17日(火)、18日(水)の2日間にわたって実施されます。これまで印西中のリーダーとして、たくさんのことを成し遂げてきた3年生です。また、受験に向けて、学習や面接練習など、たくさんの努力を積み重ねてきました。体調を整え、自信を持って臨んでほしいと思います。先生方、そして多くの後輩たちが応援しています。

私立高校が第一希望の皆さん、合格おめでとうございます。安堵感と共に、公立高校を受検する仲間にも、同じ気持ちを味わってほしいと、心から願っていることでしょう。私立を見事合格した皆さんは、今、目の前で頑張っている仲間の支えとなり、より一層、絆を深める時間としてきたのではないのでしょうか。また、3学年職員から出される学級通信や学年だより、進路だよりには、『受験は団体戦』という言葉が繰り返し出てきます。3年生の皆さんが見せた運動会のムカデ競走のように、全員が一致団結して、学年全員で今ある試練を乗り越えてゴールしてほしいと思います。

1・2年生は、2月27日(金)に行われる予餞会に向けて準備を進めています。実行委員や歌声委員を中心に、係の仕事や合唱練習に一生懸命に取り組んでいます。2年生は、リーダーとしての力の見せどころです。1年生は、1年間かけて培ってきた学年としての集団の力を発揮するときです。3年生にこれまでの感謝の気持ちを伝え、「後は、私たちに任せてください」という、後を受け継ぐ者としての姿をしっかりと見せてほしいと思います。

当日は、保護者の皆様も参観できます。ぜひ、1・2年生が3年生のために心を込めて創り上げた予餞会と、3年生が1・2年生に贈る合唱をお聴きいただき、それぞれの学年の成長を感じていただけたらと思います。ご参観、よろしくお願ひいたします。

**予餞会スローガン 豊・旅立ち～笑顔溢れる豊かな未来へ～**



## お知らせ

### 部活動精選について・男子柔道部の存続について(変更)

令和6年度3学期末保護者会、令和7年度4月の保護者会でもご説明しましたように部活動の精選を行っています。

印西中は、生徒数の減少により、令和5年度から令和6年度にかけて、2学級減となりました。それに伴い教員数が令和5年度19人から、令和6年度17人、令和7年度には16人に減っています。今後も教員数が減る可能性があります。学級数が減ることにより、県教委から配置される教員数も減ることになります。しかし、生徒数は減少してもこれまで通りの部活動数であるため、平日や休日に活動する部員数が揃わず、他校との合同チームで大会に参加したり、平日も2・3人で十分な活動ができなかったりする状況が続いています。また、どの学校も教員は2人体制で部活動を運営していますが、本校は、その体制が取れない状況にあります。『やりたい競技を思いっきりやらせたい』という思いとは別に、物理的に部活動の維持が難しい状況です。令和8年度9月から、本格的に休日の部活動が地域展開になることもあり、令和9年度4月に向けて、部活動数を減らし、適正な数で部活動運営ができるよう、以下の規定で行ってきました。

- ①令和7年度新人戦を迎える段階で、2年連続チーム必要人数(団体戦必要人数)が足りない場合は、令和8年度の新入生を募集しない。
- ②個人競技においても、2年連続3人以下の部活動は、令和8年度の新入生は募集しない。
- ③令和7年度の新入生(現1年生)においては、令和8年度の活動をもって終了することを了承する場合は、入部を認める。(現1年生:男女バスケットボール部員、男子柔道部員)

【結果】新人戦を迎え、2年連続で該当した部活動は、男女バスケットボール、男子柔道部でした。

しかしながら、柔道部における部活動地域展開において、

- ①他の学校でも部活動の精選を行っており、今後印西市内に柔道部が存在するのは、印西中のみとなること(12月に情報提供あり)
- ②柔道については、印西中が拠点校となる予定であること(1月に市教委より)
- ③地域展開では、男女募集となること(1月に市教委より)
- ④男子柔道部をなくしても指導者数が変わらないこと等、

市内に柔道部の受け皿が、本校にしか存在しないことから、令和8年度の男子柔道部について再検討し、令和8年度も男子新入部員を募集することとしました。

なお、男女バスケットボール部については予定通り、令和8年度の新入部員を募集しません。

下の表は、現在の印西中学校の部活動数です。同じ規模の中学校と比較しても、存続をするには、たいへん厳しい状況です。今後も、部活動の精選については、部活動地域展開の状況も踏まえながら、再考せざるを得ない状況です。なにとぞ、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

#### <学級数の推移>

●R2…12学級 R3…11学級 R4…10学級 R5…10学級 R6…8学級 R7…8学級

#### <R7年度印西中部活動の状況>

同じ規模の市内中学校部活動数との比較(通常学級6クラス・特別支援学級2クラス)

	印西中	A校	B校
教員数(R7)	16	14	14
個人/団体	8/5	5/3	7/0
合計	13	8	7

※赤は、個人戦がないチームスポーツ。